キャリアラダー表(2024年2月改訂) 薬剤部 教育研修課

習得する分野	一般目標(GIO)			行動目標(SBO)			方略	評価
- 1.1. W/J-11	,,,, al 10 (010)	レベル I (1年目)	レベルⅡ(2年目以上)	レベルⅢ(6年目以上)	レベルⅣ(10年目以上)	レベル V (20年目以上) ・赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解し、赤	~ 2 mM	II I IMA
組織的役割遂行能力	赤十字職員として行動するために、赤十字精神について理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	・ロークが下ナ仕職員開理現住で理解し、現底に差 パ・	・赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解し、赤 十字精神に則った活動ができる。 ・日本赤十字社職員倫理規程を理解し、規定に基づい 大行動がとれる。 ・病核の理念、基本方針を理解しそれに沿った活動ができる。 ・海前部の理念、目標を理解し、目標達成に向けて取り 組むことができる。 ・各種委員会で委長して活動できる。	・赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解し、赤十字精神に所た語を指導できる。 ・日本赤十字社職員倫理規程を理解し、規定に基づいた行動がとれる。 ・病院の理念、基本方針を理解しそれに沿った活動ができる。 ・海前的の理念、目標を理解し、目標達成に向けて貢献することができる。	・赤十字の歴史、理念、組織、活動について理解し、赤 十字精神(即)・た活動を支援である。 ・日本赤十字社職員倫理規程を指導し、後輩が規定に 基本・新院の理念。基本方針を理解しそれに沿った活動ができるよう後輩を支援する。 ・演解的の目表。基本方針を理解しそれに沿った活動ができるよう後輩を支援する。 ・演解館の目標達成上向けて貢献し、後輩の士気を高 め業務を逃行できる。 ・各種委員会に属し、積極的な活動ができる。	「新下ナル区末、埋ま、30歳、63加」に生命に、水 十年精神に削った制門運営を実施する。 1日本ホ十字社職員倫理規程に沿って行動できる環境 を整えることができる。 「網路の埋念、基本方針を理解しそれに沿った薬剤節の 活動を企調運営できる。 「薬剤部内の業務内容を把握し、目標を達成できるよう 課題を共和に関いた。 「発酵を開発していた。」 「発酵を発展」会に属し、問題話を提起し要員会運営に積極 的に関わることができる。	・薬剤部の理念	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価 ・動務評定制度(動務評定表)
業務実践能力	患者にとって最適な薬物療法 を提供するために、必要な知 識・技術・姿勢を習得する。	- 処方盧内容を理解し調剤業務、調製業務を行うことができる。 - 業務手順を理解し安全・確実に業務ができる。 - 問題解決のための情報収集ができ、上司や同僚に相談できる。 - 指導・別書を基に自動いに行動できる。 - 必要に応じて上司へ報告・連絡・相談を行うことができる。 - 衣養、時間外業務が円滑に行うことができる。	- 業界手順に沿って薬剤業務が実施できる。 時間配分を意識し健先順位を考慮して、円滑に薬剤業 務を行うことができる。 ・患者の状態をモニタリングして適正な薬物療法につな /おようが、 ・指導・削高を基に自主的に行動できる。 ・必要に、薬剤業の指導ができる。 ・必要に応じて上間へ報告・連絡・相談を行う。 ・収益・無剤業業が円満に入る。	・効率的な業務運営を常に心がけ、実践できる。 ・高度な知識、技術を持ち、エキスパートとして実践できる。 ・科学的根拠に基づいたモニタリング・評価ができる。 ・果然改善に主体的に取り組むこかできる。 ・必要に応じて上司へ報告・連絡・相談を行う。 ・必要に応じて上司へ報告・連絡・相談を行う。 ・必要に応じて上司へ報告・連絡・相談を行う。	・効率的な業務運営を常に心がけ、実践できる。 ・高度な知識・技術を持ち、エキスパートとして実践できる。 ・科学的根拠に基づいたモニタリング・評価・提案ができる。 ・業務課題を発見・分析し、業務改善を意欲的・主体的 に提案でき、実践できる。 ・常に業務の進捗状況を把握し適切に上司に報告できる。	が事的に来務運管できるよう常に心がけ、支援できる。 ・高度な知識・技術を持ち、エキスパートとして実践できる。 ・将学的根拠に基づいた業務目標の設定、実行ができ ・日常業務における問題点を解決できる。 ・他助着との業務連携・調整ができる。 ・夜恵・時間外実務が円沸に行えるよう課題を把握し業 務改善に即り組むことができる。	- 新人教育プログラム - 薬剤部業務マニュアル - 病院連用マニュアル	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価 ・勤務評定制度(勤務評定表)
チーム医療	医療の質向上のために、各職種の役割とチーム医療の 重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	・各チーム医療とその役割について理解する。 ・各チーム医療の研修会に参加する。	・各チーム医療の業務内容について理解する。 ・各チーム医療活動を先輩と一緒に行うことができる。 ・各チーム医療の研修会に参加する。	- 各医療チームの一員として活動できる。 - 問題がある場合には各医療チームメンバーに相談できる。 - 名チーム医療の研修会に参加する。 - 日本赤十字社の保有する個人情報保護規程を理解	・院内各医療チームの業務内容について理解し、支援できる。 ・チーム医療を円滑に行うための方策を提案できる。 ・各チーム医療の研修会の企画に関わる。	- チーム医療で活躍できる薬剤師の配置のために調整、 決定できる。 - チーム医療を円滑に行える環境を整える。 - 冬チーム医療の研修会の企画運営を支援する。 - 日本赤十字社の保有する個人情報保護規程を理解	·院内研修会参加、実施 ·部内勉強会参加、実施 ·院外研修会参加、実施	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価: ・勤務評定制度(勤務評定表) ・研修会参加証明書
倫理的判断能力	患者さんの権利と意思を尊 重した医療の提供について 理解し、適切な知識・技術・姿 勢を習得する。	・職場のルール・マナーを守ることができる。	・日本赤十字社の保有する個人情報保護規程を理解し、 規定に基づいた行動がとれる。 ・医療人としての自覚と責任ある行動ができる。 ・個人情報プライバシーの保護、守秘義務を順守する。 ・職場のルール・マナーを守ることができる。	・日本赤十字社の条有する個人情報保護規程を理解し、 規定に基づいた行動がとれる。 医療人としての自覚と責任ある行動ができる。 ・個人情報・プライバシーの保護、守秘義務を順守する。 ・機型の問題に交も、問題提配できる。 ・機製のルール・マナー歩守ることができる。 ・インシデント・アンテンチを前に適切な対応ができ	・日本赤十字社の保有する個人情報保護規程を理解し、規定に基づいた行動がとれる。 ・医療人としての自覚上責任ある行動ができる。 ・個人情報・プライバシーの保護、守秘義務を順守する。 ・機理的問題に対き、問題を提起できる。 ・職場のルール・マナーを守ることができる。	・日本赤十字社の集有する個人情報保護規程を理解し、規定に基づいた行動がたれる。 ・医療人としての自覚之責任ある行動ができる。 ・優康人としての自覚之責任ある行動ができる。 ・倫理的問題に気づき、問題を解決できる。 ・倫理りの開題に気づき、問題を解決できる。 ・倫理上職しの自己管理を行うことができる。 ・・倫理上職しの自己管理を行うことができる。 ・・一心をデント・アンケンテントを専門に関題点を把握し他	·院内職業倫理指針 ·院内臨床倫理指針	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価 ・勤務評定制度(勤務評定表)
医療安全	安全な薬物療法を提供する ために、その必要性と重要性 を理解し、適切な知識・技術・ 姿勢を習得する。	薬剤部内の過誤防止のための対策を理解し、その上で	- インシデント・アクシデント発生時に適切な対応ができる。 ・事故防止マニュアルに従って業務を実施できる。 ・日常業務のリスクや問題点を把握し、改善のための提 案ができる。 ・院内医療安全関連の研修会に参加する。	る。 ・事故防止マニュアルに従って業務を実施できる。 ・日常業務のリスクや課題を把握し、改善のための提案ができる。 ・院内外医療安全関連の研修会に参加する。	- インシデント・アクシデント発生時に適切な対応・指導が できる。 ・事故防止マニュアルを実施・指導できる。 ・安全な医療提供体制を推進するためにリーダーシップ を発揮できる。 ・・院内医療安全関連の研修会の企画に関わる。	・インシデント・アクシデント発生時に問題点を把握し他 部門との調整を柔軟に行い、改善が実施できる。 ・事故防止対策を実施・指導・評価することができる。 ・医薬品の安全使用のための管理・指導ができる。 ・院内・外の医療安全関連の研修会で中心的な役割を 果たすことができる。	・医療安全管理マニュアル ・医薬品の安全使用のための業務手順書 ・院内医療安全研修会参加 ・医療安全ハンドブック ・部内医療安全対策ミーティングの実施	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価・勤務評定制度(勤務評定表) ・研修会参加証明書
コミュニケーション能力	良好な人間関係を築くためにコミュニケーション能力の重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	・上司や先輩の意見を理解することができる。 ・自分の意見を伝えることができる。 ・協調性をもカメンバーシップを発揮できる。 ・スタッフや上司、他部署の職員とコミュニケーションがとれる。	- リーゲーシップを理解する。 - プロワーシップを理解し、実践する。 - 自部署のメンバーの役割や状況を理解し、協力し合える。 ・他部署の役割を理解し、協力することができる。 ・必要な情報をチーム内に報告、連絡、相談できる。 ・患者とのコニューケーション能力を向上させる。	・リーゲーシップを理解する。 ・フォロワーシップを理解し、実践する。 ・薬剤部内の調整役ができる。 ・他部署の役割を理解し、協力することができる。 ・必要な情報をチーム内でよ者できる。 ・患者とのコミュニケーションから問題点を抽出できる。 ・ソラスメントに対する適切な行動ができる。	- リーゲーシップを発揮する。 - フォロワーシップを支援する。 - 薬剤部内の調整を柔軟にできる。 - 他部署との調整を柔軟にできる。 - 必要な情報をチェルマでよ者し発展できる。 - 患者とのコミュニケーションから問題点を解決できる。 - パラスタントに対して適切な問題・行動ができる。	・上司と部下との調整役として相互にコミュニケーションがとれる がとれる ・他都署との対応について支援・指導ができる。 ・薬剤能スタップをエンパワメントできるコミュニケーションがとれる。 ・ハラスメントに対する相談や適切な指導ができる。	・コミュニケーション能力向上のための研修会参加 ・ハラスメントに対する研修会参加	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価・勤務評定制度(勤務評定表)・研修会参加証明書
接遇	患者さんならびに関係者の 満足度を高めるために接遇 の重要性を理解し、適切な知 識・技術・姿勢を習得する。	応できる。	 ・社会人としてのマナーを身に着け、患者やスタッフに対応できる。 ・患者を尊重した接遇ができる。 ・接拶、適切な言葉使いができる。 ・身だしなみに配慮でき、後輩を指導できる。 	・後輩に社会人としてのマナーを指導し、患者やスタッフ に対応できるよう支援できる。 ・後輩が、患者を尊重した接遇ができるよう支援できる。 ・接拶、適切な言葉使いができる。 ・身だしたが、に配底でき、後輩を指導できる。	・薬剤部内の接遇に関する問題点を把握でき、改善策を 提案できる。	・薬剤部員に対して接遇について指導できる。	・院内接遇研修会参加・身だしなみチェック	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価 ・勤務評定制度(勤務評定表) ・みだしなみチェック表 ・研修会参加証明書
教育(人材育成)	医療の質向上のために、教育(人材育成)の必要性と重要性を理解し、適切な知識・技術・姿勢を習得する。	- 各種マニュアルを熟読し環解できる。 - 助富を受けながら自己の学習課題を明確にし、目標設定ができる。 - 第二の研修会に積極的に参加できる。 - 自己学習課題の成果を発表できる。	・各種学会、研修会、講習会などで得た知識を、業務に 活かすことができる。 ・自己の課題学習を明確にし、目標を達成できる。 ・認定や専門業剤師などの責格取得のための計画を立 でる。 ・実務実習生への指導ができる。 ・院外外の研修金に精梅的に参加できる。	- 各種学会、研修会、講習会などに参加し専門性を高め あことできる。 自己の課題学習を明確にし、目標を達成できる。 ・ 認定や専門薬剤師などの資格を取得できる。 ・ 学業や研修会に発極的に参加できる。 ・ 提切の研修会に積極的に参加できる。 ・ 指導・ 関彦差に論文を表できる。	・各種学会、研修会、講習会などに参加し専門住を高め るこかできるよう支援できる。 ・自己の課題学習を明確にし、目標を達成できる。 ・認定や専門実新師などの資格を取得できる。 ・学会や研修会で発表でき、後輩の発表の支援ができ ・原内外の研修会は精複的に参加できる。 ・論文券表すを提びする。	- 薬剤部の教育計画を作成し、指導・評価できる。 ・チーム医療で溶膜できる薬剤師を育教できる。 ・翌定・専門薬剤師などの資格取得の計画・支援ができる。 ・息の対議時となり研究会などを開催し教育できる。 ・論文発表や学会発表への助言・指導ができる。	・学術講演会参加 ・学術講演会開催 ・学会発表 ・論文執筆	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価 ・勤務評定制度(勤務評定表) ・研修会参加証明書 ・業績報告
マネジメント能力		・業務上の報告・連絡・相談を助言を受けながら適切に 行うことができる。 ・日常業務に必要と基本的知識を活用し、助言を受けな がら、優生度を決定することができる。 ・使用機器や物品の主傷・整頓・清揚ができる。 ・緊急時の対応を理解し、指示の下に行動できる。	・学会と中様会でも表できる。 ・日常業務について薬剤部ニーティングなどで自分の意見を述べられ、問題提起できる。 ・部内の問題とを出せてきる。 ・部内の問題とを出せてきる。 ・部内の目標に従って、自己の課題に取り組むことができる。 ・使用機器や物品の状況を把握し、準備・整頓・清掃を検室に指導できる。 ・緊急等の対応を理解し、指示の下、後輩に指導できる。	・都書の活性化を図るため中心的役割が集上せる。 ・業剤的内のエニスアルの作成・検証ができる。 ・部外の問題解決のために解決策を提案できる。 ・場所的下の創強金等の企画を積極的に行うことができる。 ・使用機器や物品の状況を確認し、上目に報告できる。 ・発気時の対応を提案できる。 ・発気時の対応を理解し、薬剤部としての対応を提案できる。 ・医療終済的な観念から業界を実践する。	- スタッフと上旬の調整役として、部署の活性化を図るため中心的役割が果たせる。 ・上旬の下、必要所に部内のマニュアル変更を行う。 ・後輩を適切に指導し必要な時は注意することができる。 - 薬剤時内での創始金の企画を支援できる。 ・窓急時に関連部署への報告・指示ができる。 ・ 医他差別が収載さから果務を提案できる。	・業務量を考慮して、業剤業務の展開を計画・立案・実施できる。 ・問題解決への取り組みを支援・指導できる。 ・一問題解決への取り組みを支援・指導できる。 ・郷下の難力の実施を把握し、公平に評価できる。 ・一窓等に関連部をの報告・指示を円滑にできる。 ・・病院経営を意識して、企画立案・実行できる。	- 各種マニュアル - 各種研修会等への参加 - 目標管理シート	- キャリアラダー評価表(業務到達度評価 - 勤務評定制度(勤務評定表) - 研修会参加証明書
災害医療	災害発生時に日本赤十字社 職員として活動するために災 害医療を理解し、適切な知 識・技術・姿勢を習得する。	- 災害時の薬剤師としての役割と責任を理解できる。 ・災害出動時に携帯する医薬品リストを知る。 ・災害制と必要な薬品を適切し提供する。 ・院内災害別能や研察金に参加する。 ・救護班と一緒にトリアージ訓練に参加する。	- 災害時の薬剤師としての役割と責任を理解し後輩に指 等できる。 災害教護に出動する際に携帯する医薬品について理 解し、成株・払いだしができる。 災害教護に関する基礎知識と学習する。 ・災害別様や研修会に参加する。 院内教護班の一長としての薬剤師の役割を理解する。	・災害時の薬剤師としての役割と責任を理解し活動できる。 ・災害救護に出動する際に携帯する医薬品について把 類し、点検・払いだしができるよう検重を指導できる。 ・災害教護に関する基礎知識を提出指導する。 ・災害別線や研修金に参加する。 ・飛門救護班の一員として活動できる。	・災害物の薬剤師としての役割と責任を理解し活動できるよう支援する。 ・災害教護に出動する際に携帯する医薬品について把 規制し、危険・払いだしの支援ができる。 ・災害教護に関する薬剤部のマニュアルの改訂を提案できる。 ・災害執続や研修会の企画に参加する。 ・災害機や研修会の企画に参加する。 ・災害機や研修会の企画に参加する。	・災害発生時に薬剤部門の運営ができる。 ・救護班・DMATへの薬剤師の参加調整ができる。 ・災害救護員を育成する。	・災害対策マニュアル ・ゾニカルード ・災害教護訓練及び研修会参加 ・部内研修会実施	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価・勤務評定制度(勤務評定表) ・研修会参加証明書
救急医療	る救急医療の重要性を理解		 教急医療の研修会に参加する。 一次教命処置ができる。 ・バイタルサインの知識を身につける。 ・教急で使用する医薬品について学習する。 	・教急医療の研修会に参加する。 ・BLS以上のスキルを後輩に指導できる。 ・パイタルサインの知識を後輩に指導できる。 ・教急で使用される医薬品について理解できている。	・教急医療の研修会の企画に参加する。 ・BLS以上のスキルを後輩に指導できる。 ・バイタルサインの知識を後輩に指導できる。 ・教急で使用される医薬品を管理できる。	・教急医療に対する薬剤部の運営ができる。 ・教急部門で活躍できる薬剤師が育成できる。	・各種マニュアル ・各種研修会等への参加 ・初期臨床研修医ハンドブック ・教急外来マニュアル	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価・勤務評定制度(勤務評定表)
地域医療	地域住民の保健、医療、福祉 の向上のために、地域連携 の必要性と亜要性を理解し、 適切な知識・技術・姿勢を習 得する。	・院内だけでなく、地域の医療施設や保険薬局との連携 の必要性を理解し、説明できる。 ・地域医療施設や保険薬局の研修会に積極的に参加す る。	 ・地域の医療施設や保険薬局に対して、必要な情報を提供上たり、収集することができる。 ・地域医療施設や保険薬局の研修会に積極的に参加する。 ・地域医療機関等の研修会で発表できる。 	供したり、収集することができる。 ・地域医療施設や保険薬局の研修会に積極的に参加する。	・地域の医療施設や保険薬局に対して、必要な情報を提供したり、収集することができる。・地域医療施設や保険薬局の研修会に積極的に参加する。・地域医療機関等の研修会を企画したり発表することが	・地域の医療施設や保険薬局と協力して勉強会などを 企画開催し、連携を推進することができる。	薬剤師会、病院薬剤師会との合同研修会・保険薬局からの疑義照会薬薬連携研修会	・キャリアラダー評価表(業務到達度評価・勤務評定制度(勤務評定表) ・研修会参加証明書
	1111 / 6/1						-	1
	到達目標	レベル I (1年目) 業剤師としての基本的知識・技術・姿勢を習得し、安全 確実に業務を実施できる。自分の役割と責任を認識し、 自分の能力を超えて業務を求められたときには支援や 指示を何ぎ、業務内容について相談できる。社会人とし てのマナーを身に着け、行動できる。	レベルII (2年目以上) 基本的な薬剤業務を自主的に実施出来る。目標を持っ た自己研修ができる。実務実習生や新卒薬剤師への業 務指導ができる。	レベル町(6年目以上) 知識を活用し、個別性や優先度を考慮した業務を実施 し、部署目標達成に貢献できる。業務改善に積極的に取 り組むことができる。実務実習生や後輩の教育指導に関 わることができる。専門性を高め必要に応じて専門・認 定業剤師等の音様を取得することができる。	業務を円滑に実施できるよう調整できる。各課の業務課	レベルV(20年目以上) 薬剤部全体の連営にかかわり、他部署との調整、支援 を行う。病院の方針に基づいて業務目標を定め、目標達 版に向けて指導、指示できる。		